

＼ぼくも!!/
＼わたしも!!/

ボランティアの輪

トライ☆やるボラ若園 若園地区の子どもボランティア

若園地区では、子どもたちが自発的にボランティア活動へ参加できる地域づくりを進めています。小学校から中学校までの9年間を通して、「ボランティアとは何か」を見て、体験し、学べる環境が整っています。小学生は登下校の見守りや田植え、茶摘み体験などを通じて地域の支えに触れ、中学生になると自ら地域で活動する立場へと成長します。

若園中学校と地域学校共働本部は、「ボランティアをやってみよう」という中学生をサポートする窓口として、その一歩を応援しています。



「シトラスリボン」
「地域・学校・家庭」で
子どもを見守る若園の
シンボルマーク



若園中学校では、小学校時代から地域のボランティア活動に触れてきた経験を生かし、「自分も地域のために活動したい」と考える生徒が多くいます。その思いを応援するのが、地域の企業や交流館などから寄せられる依頼をもとに活動する「トライ☆やるボラ若園」です。

保育や生き物観察、遊び、農業、イベント、木工などさまざまな活動から、自分の興味や都合に合わせてスマートフォンで気軽に申し込むことができます。

活動内容を幅広く用意することで、外で体を動かすことが好きな子も、室内で落ち着いて取り組みたい子も、それぞれに合ったボランティアへ参加できます。

今年で8年目を迎え、スタンプラリーなどの工夫も実り、現在では年間約100人の生徒が参加する地域に根付いた取り組みとなっています。

活動紹介

ふれあいまつり中学生ブース 実行委員会

9月に若園交流館で行われる「ふれあいまつり」にブースを出しています。実行委員会の中でどんなブースにするか考えて、地域の大人が先生となり、一緒に盛り上げてくれます。



昨年度は
ふれあいまつりの
ライブ配信に
初挑戦しました！

こども園ボランティア

こどもといっしょに折り紙、ボール遊び、リレーなどをしました。お昼寝の寝かしつけ、おもちゃの消毒などを行いました。



園の先生たちの
大変さがよく
分かりました！